

# 安全性・信頼性の高い

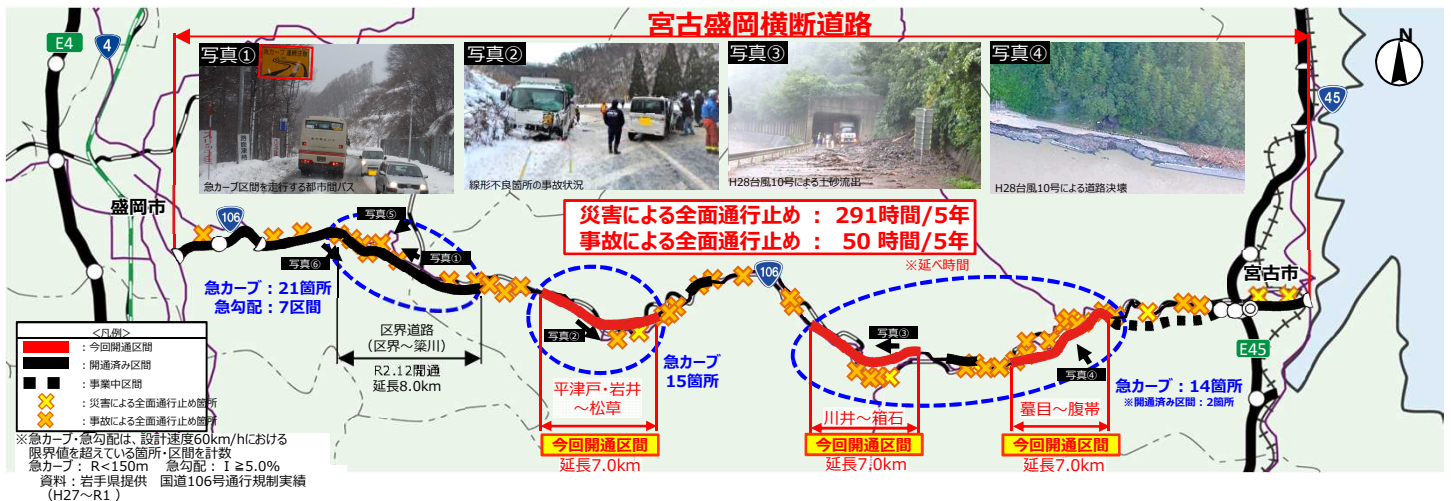


# 道路ネットワークを構築

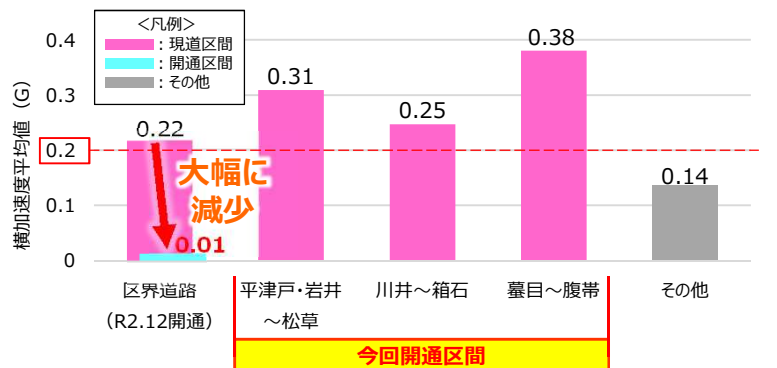
## ◆道路ネットワークについて

- ◆ 国道106号は内陸と沿岸を結ぶ重要な路線であるが、線形不良箇所が多く点在し、災害・事故による通行止めも発生。
- ◆ これまでの開通により、盛岡市と宮古市を結ぶ都市間バスでは、一部の便で線形不良箇所を回避した運行を開始。
- ◆ 今回の開通により、道路が寸断されるリスクが減少し、安全性・信頼性の高い道路ネットワークの構築と更なる利便性向上を支援。

▼国道106号での災害・事故による通行止め発生箇所(H27～R1)



▼国道106号における横加速度発生状況



### 《台風による被災時の声》

(H28.8 台風10号による通行止解除の際)

- ・沿岸部と内陸の命、経済をつなぐ道路だと改めて感じた。

(H28.9.11 岩手日報掲載

道の駅やまびこ館 館長コメント)

### 《バス事業者の声》

- ・国道106号は、宮古市と盛岡市を結ぶ路線で、沿線地域の生活を担う路線でもあります。
- ・区界道路を経由する便では、横揺れが少なくなり、快適性が高くなっています。
- ・今回の開通により、通行止めが生じても大きな迂回（釜石や岩泉を経由）をしなくて済むため、通行止めのリスクや影響の軽減に期待しています。

(R3.1 バス事業者ヒアリング結果)



# 観光振興の活性化を支援

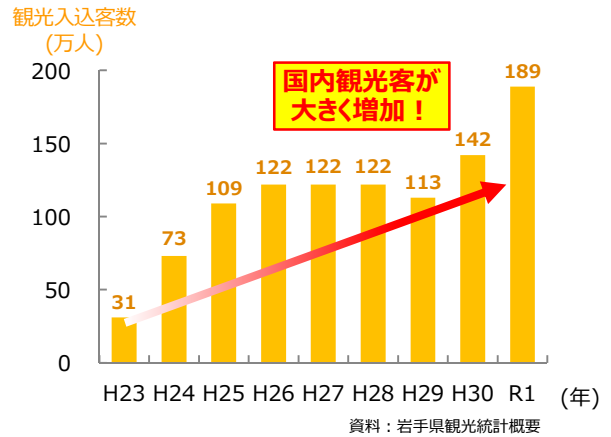
## ◆宮古市の観光について

- ◆ 三陸沿岸地域には、浄土ヶ浜や震災遺構である「たろう観光ホテル」など観光資源が数多く点在しており、宮古市の観光入込客数は増加傾向。
- ◆ 宮古市では、市の特産品である水産物を用いた「瓶ドン」の企画・提供をH30に開始。現在までに取扱店舗数は約2倍に増加。
- ◆ 宮古盛岡横断道路の整備により盛岡市と宮古市のアクセス性が向上し、地域の観光振興の活性化を支援。

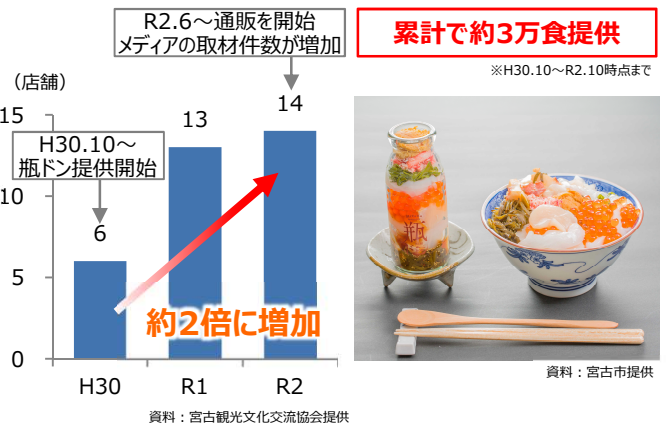
### ▼三陸沿岸地域の観光資源（宮古市）



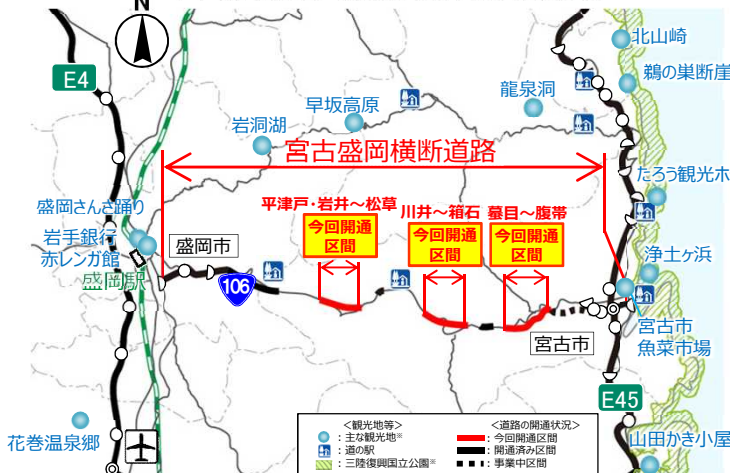
### ▼宮古市の観光入込客数の推移



### ▼瓶ドン取扱店舗数の推移



### ▼国道106号周辺の主要観光地



※主な観光地は、自治体観光協会、自治体統計書等に掲載の主要観光地点等を参考に、沿岸部の市町村及び盛岡市に立地するものを抽出。  
※三陸復興国立公園は、東日本大震災により被災した三陸地域の復興に貢献するためにH25.5に創設された国立公園。

### ▼道路整備による所要時間の短縮効果



### 《観光関係者・レンタカー会社の声》

- ・宮古盛岡横断道路の開通により、盛岡市から瓶ドンを食べにくる日帰り客増加を期待しています。  
(R2.12 宮古市内観光関係者ヒアリング結果)
- ・宮古盛岡横断道路の開通で、レンタカーを利用される方が区界峠などの難所を避けて、盛岡市と宮古市間を安心して運転できるようになります。
- ・所要時間も短縮するので、日帰り等でレンタカーを利用される方が増えると期待しています。  
(R3.1 盛岡市内レンタカー会社ヒアリング結果)

# 時間短縮により



## 宮古市の水産業を支援

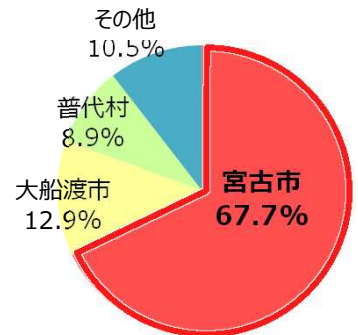
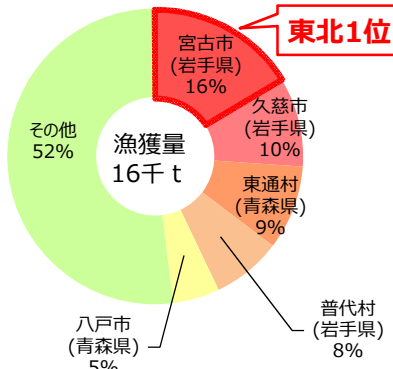
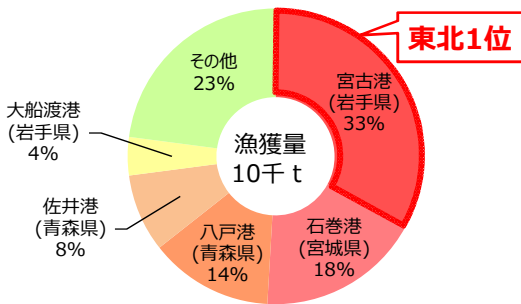
### ◆宮古市の水産業について

- ◆ 宮古港の「たら(生)」と宮古市の「さけ・ます類」水揚量は東北1位、盛岡市中央卸売市場に入荷する県内水産物の7割を占める。
- ◆ 宮古市では、水産業に関する新たな取組としてトラウトサーモンの養殖を開始し、R2.4に初出荷。
- ◆ 宮古盛岡横断道路の開通で宮古市から盛岡市への所要時間が短縮し、水産物の鮮度向上、宮古市の水産業を支援。

▼東北地方の「たら(生)」の漁港別上場水揚量

▼東北地方の「さけ・ます類」の市町村別漁獲量

▼盛岡市中央卸売市場の県内水産物方面シェア



資料：水産物流動調査（漁港別品目別上場水揚量 R1年間調査）

資料：H30海面漁業生産統計調査

資料：盛岡市中央卸売市場ヒアリング結果（H30）

### ▼宮古市魚市場から盛岡市中央卸売市場への水産物の出荷ルート



資料：平成27年度 全国道路・街路交通情勢調査を基に算出。（宮古市魚市場～盛岡市中央卸売市場の間で算出）

※開通前：R2.12末時点

開通後：復興支援道路宮古盛岡横断道路全線開通後（H27年以降の開通区間は設計速度を基に算出。なお、田鎖壱目道路は除く）

### ▼宮古市のトラウトサーモン（養殖）



### 《水産関連会社の声》

- ・沿岸から内陸への輸送時間が短縮することで、より鮮度が良い状態で卸売業者や消費者に提供できます。
- ・鮮度が良くなれば単価のアップも期待できます。

(R1.10 宮古市内企業A ヒアリング結果)

- ・宮古盛岡横断道路が開通すれば、新たな物流企業の参入等により、より遠方まで輸送が可能になります。
- ・現在、鮮魚の翌朝配送が可能な範囲は山形までですが、更に遠方まで輸送できる事を期待しています。

(R3.1 水産関連会社ヒアリング結果)

### ▼宮古市で水揚げされたマダラ



# 安定輸送により宮古市の

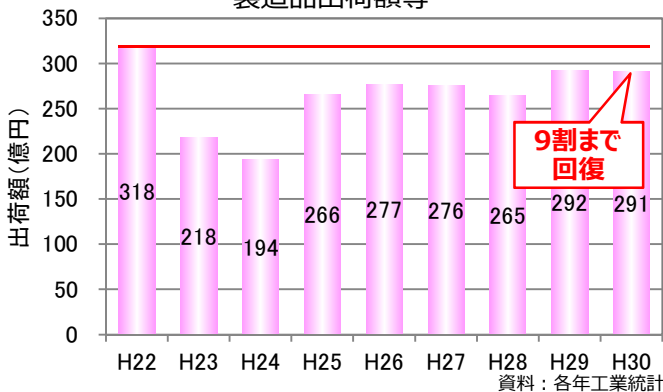


# 地域産業(コネクタ)を支援

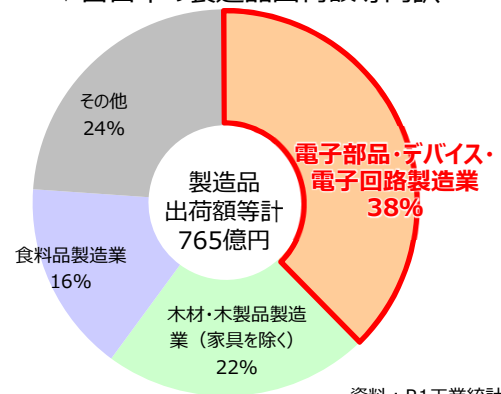
## ◆宮古市の地域産業について

- ◆ 宮古市の主産業である電子部品・デバイス・電子回路製造業の製造品出荷額等は震災前の約9割まで回復。
- ◆ 宮古市で電子部品(コネクタ)を製造する企業では、一部製品を国道106号を利用して青森方面へ出荷。
- ◆ 宮古盛岡横断道路全線の整備により製品の安定輸送が可能となり、地域産業の振興を支援。

### ▼宮古市の「電子部品・デバイス・電子回路製造業」の製造品出荷額等



### ▼宮古市の製造品出荷額等内訳



### ▼青森方面へのコネクタ出荷ルート



### ▼コネクタの製造イメージ



※コネクタ：機器と機器を接続するケーブルの接続部分の部品・器具のこと。

### 《宮古市のコネクタ関連企業の声》

- ・冬期は路面状況により出荷時間を早めたり、翌日の出荷に回すこともありましたが、また、到着が遅れることもありましたが。
- ・全線開通は、トンネル区間であれば除雪の必要も無く、コネクタの安定輸送が実現すると期待しています。
- ・宮古盛岡横断道路の開通により、冬期及び事故発生時における荷物の到着・出荷の遅れ・製品の変形等が激減し、納期遅れの心配が軽減されます。

(R1.10 宮古市内企業A ヒアリング結果)

(R2.12 コネクタ関連企業ヒアリング結果)